パラアスリート・オブ・ザ・イヤー

【UNIVAS：パラアスリート・オブ・ザ・イヤー】

応募申請書

　　　　　令和　　年　　月　　日

長崎国際大学学長　殿

申請大学・団体の所在地

申請大学・団体の名称

申請者役職・氏名

下記のとおり応募します。

記

1. 被推薦者個人名等（募集要項4(1)応募条件①）

|  |  |
| --- | --- |
| 被推薦者個人名 | 　 |
| 学部・学科・専攻・コース等 |  |
| 学年(応募時点) | 　　　　　　　　　　　　　　　 年 |
| 所属部 | 　　　　　　　　　　　　　　　　 |

1. 応募者の概要

|  |  |
| --- | --- |
| ふりがな | 　 |
| 3-1団体名（正式名称） | 　 |
| ふりがな | 　 | 役職名 |
| 3-2代表者名 | 　 | 　 |
| 3-3所在地 | 〒　 |
| 3-4連絡先（窓口担当者） | 氏名 | TEL |
|
| 所属・役職 | メールアドレス |
|

1. 応募条件に係る確認事項（募集要項4.(2)応募条件②・③）

応募条件に係る確認事項について、確認の上当てはまる場合のみ○を記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
|  | 当該個人について、氏名・所属の公表が可能である |
|  | 法令上または社会通念上、表彰するにふさわしくないと判断される問題等を起こしていない |

1. 所属部における表彰履歴・出場履歴（募集要項5.(1)審査の認定要件①）

表彰実績で当てはまるものに○をつけてください。

|  |  |
| --- | --- |
|  | A：全国大会相当の大会における優勝経験、もしくはそれ以上の成績（ユニバーシアード等） |
|  | B：全国大会相当における表彰経験 |
|  | C：地区大会における優勝経験 |
|  | D：地区大会における表彰経験 |
|  | E：その他大会における表彰経験 |

表彰実績の詳細を記入ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 大会名 |  |
| 順位・成績 |  |

1. 競技活動における課題とその克服

|  |
| --- |
| 概要（枠は適宜広げて記載ください） |
| 5-1優れた競技成績獲得ため乗り越えた課題 |  |
| 5-2課題克服の方法・工夫 |  |
| 5-3課題克服の結果・影響 |  |

【参考】

|  |
| --- |
| 記載例（枠は適宜広げて記載ください） |
| 5-1優れた競技成績獲得のため乗り越えた課題 | * 近隣大学に同じパラ競技をやっている部活動がなく、練習試合を組むことができなかった。
* 部員数も少ないため紅白戦もできず、実戦形式の練習をほとんどしないまま公式戦に臨むことになり、思うようなプレーができなかった。
* 練習場所の確保が難しいため、活動回数が他部活と比較し少なく、モチベーション維持が難しかった。
 |
| 5-2課題克服の方法・工夫 | * SNSで練習相手がおらず困っていること、大学部活に拘らずに練習相手を募っていることを発信し、社会人チームにコンタクトをとった。
* 体を動かす練習に固執していた部活全体の意識を変え、プロチームの技術、戦術の分析や、体幹トレーニングやメンタルトレーニングを活動に取り入れた。
 |
| 5-3課題克服の結果・影響 | * 2つの社会人チームと練習試合をすることができ、実戦経験を積むことができた。特に試合経験のなかった1年生メンバーにとって、この経験はその後の公式戦で実力を十二分に発揮できた大きな要因であると考える。
* 新たな活動を取り入れることによって、チームメンバー間のコミュニケーション機会が増え、少ない公式戦や練習機会の不足という状況下でもモチベーションを上げ続けることができた。
* 上記の取組により公式戦にベストコンディションで挑むことができ、「4．所属部における表彰履歴・出場履歴」の成績を収めることができた。
 |